

みずほCustomer Desk Report 2017/01/24号(As of 2017/01/23)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.96 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.82	1.0714	121.95	1.0012	1.2384	0.7572
SYD-NY High	114.45	1.0770	122.46	1.0020	1.2540	0.7589
SYD-NY Low	112.68	1.0695	121.14	0.9962	1.2360	0.7551
NY 5:00 PM	112.70	1.0765	121.32	0.9962	1.2534	0.7584
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.245/12.695		Δ25RR	0.618	Yen Call Over	
NY DOW	19,799.85	▲27.40	債券市場			
NASDAQ	5,552.94	▲2.39	日本2年債	-0.2270	0.5bp	
S&P	2,265.20	▲6.11	日本10年債	0.0570	▲0.9bp	
日経平均	18,891.03	▲246.88	米国2年債	1.1434	▲4.5bp	
TOPIX	1,514.63	▲18.83	米国5年債	1.8634	▲7.3bp	
シカゴ日経先物	18,940	▲245.00	米国10年債	2.3971	▲7.0bp	
ロンドンFT	7,151.18	▲47.26	独10年債	0.3630	▲5.8bp	
DAX	11,545.75	▲84.38	英10年債	1.3670	▲6.4bp	
ハンセン指数	22,898.52	12.61	豪10年債	2.7570	▲2.6bp	
上海総合	3,136.78	13.64	為替市況			
USDJPY 3M Vol	12.38	0.06%	USD/CNH	6.8127	▲0.0278	
USDJPY 6M Vol	12.37	0.04%	ドルインデックス	100.00	▲0.74	
EURJPY 3M Vol	10.53	▲0.01%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	11.96	▲0.15%	CRB指数	194.442	0.43	
			NY金	1,215.60	10.70	
			WTI	52.75	▲0.47	
			Dubai Spot	52.91	0.76	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
1月24日	0:00	欧	消費者信頼感指数・速報値	1月 -4.9	-4.8

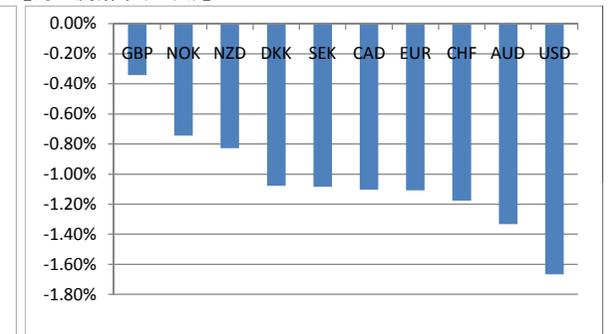
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
1月24日	17:30	独	マークイット製造業/サービス業/総合PMI・速報値	1月 55.4/54.5/55.3	55.6/54.3/55.2
	18:00	欧	マークイット製造業/サービス業/総合PMI・速報値	1月 54.8/53.8/54.5	54.9/53.7/54.4
	18:30	英	EU離脱に関する最高裁判所判決	-	-
	23:45	米	マークイット製造業PMI・速報値	1月 54.5	54.3
1月25日	0:00	米	中古住宅販売件数	12月 5.51M	5.61M
	0:00	米	リッチモンド連銀製造業指数	1月 7	8
	1:00	欧	プラトECB理事講演	-	-
	3:00	欧	ラウテンシュレーガーECB理事講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.50-113.00	1.0700-1.0850	120.00-122.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は、一時114円台前半まで上昇したものの、トランプ大統領がTPP離脱の大統領令に署名したことやムニューチン次期財務長官の「過度なドル高は短期的に米経済に悪影響を与える可能性がある」旨の発言等を受けてドルが下落。ドル円は今朝にかけて112円台前半まで下落している。本日は、これまで積み上げられたドルロングポジションの調整も含めこの流れが継続するものと予想。英国から「Brexit」を巡る最高裁判決が出るため、その後の英国政府の対応を含めて注目していきたい。

東京	シドニー時間オープン後、一時高値114.45を付ける場面が見られたものの、その後先週金曜日のトランプ米大統領就任後の安値(114.21)を下抜けたことで、ストップロスオーダーを巻き込みつつ113円台後半まで下落。かかる中、東京時間のドル円は113.82レベルでオープン。先週金曜日に日経平均先物が下落したことを受けて日経平均株価が200円超下落して寄り付くと、ドル円相場も上値重く推移し、徐々に水準を切り下げる展開。引けにかけて一段安の流れとなり、113円台前半まで下落した後、113.33レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロは1.0714レベルで東京時間オープン。先週からのドル売りの流れが継続し、一時1.0750近辺まで上昇。結局、1.0750レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113円台前半まで小動き。朝方は113.33レベルでオープン。アジア時間中はドル売りの流れであったものの、ロンドン時間序盤からドル売り地合いが一服し横這い推移。目立ったニュースや指標等がない中でドル円も方向感に欠ける展開となり、113.40レベルでNYへ渡った。ロンドンドルも1.24円台前半でレンジ推移。朝方は1.2435レベルでオープンし、ドルの動きに合わせて上下動し、1.2449レベルでNYへ渡った。(ロンドントルフィー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	トランプ新政権スタートでリスク回避の動きが強まる中、ドル円は113.40レベルでNYオープン。朝方は特段目立った経済指標の発表が予定されていない中、トランプ氏の「極めて大規模な規制緩和を行う」、「中流階級に大幅の減税」などの発言を受けて、ドル買いが強まり114.09まで上昇する。しかし、114円台ではドル売り意欲も強く反落。その後、TPP離脱のための大統領令に署名したことが伝わると保護主義政策への懸念が高まり、米長期金利が低下したことを背景にドル円はロンドン時間安値の113.17を下抜けし、ストップを巻き込んで一時112.75まで下落した。同水準では下げ渋ったが、その後も113円を挟んで上値重く推移し、NY時間終了間際にはムニューチン次期財務長官から「強すぎるドルは短期的には良くない」との発言が伝わると、流動性が低い中でドル円は安値112.68を付け、112.70レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.0734レベルでオープン。朝方は米長期金利の低下を受けて1.0750まで上昇。その後は1.07台前半で方向感に欠く推移が続いたが、ムニューチン次期財務長官のドル高率制発言を受けて1.0770まで上昇し、1.0765レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。